

羽曳野市の  
財政は  
厳しいの？

平成25年度決算は

11億2043万円の

黒字に  
財政調整基金  
は33億円に



地方自治体の財政は羽曳野市だけではなく、どの自治体にとっても厳しいものがあります。しかし、その中で、住民福祉増進のためにやりくりするのが自治体の責務です。とりわけ、羽曳野市は毎年黒字決算を続け、財政調整基金も33億円を超える基金を積み立てられる財政状況となっています。住民の福祉の向上や教育施設の改善をすることは可能です。

財政調整基金とは

計画的な財政運営を行うため、財源に余裕のある年度積み立てる基金のことをいいます。平成25年度は、黒字の11億円の約半分である5億7千万円を基金に積み立て、全体で約33億円の基金となる。  
この基金は、予期しない収入減や不時の支出増加で、財政運営が厳しくなった時の安全装置としての貯金と言える。

日本  
共産党  
議員団

# くらしを応援する 積極的な施策の展開を要求

## 公共料金の引き下げを

物価が上がり、年金や給料は下がる、消費税の負担、社会保障の負担も増える中、公共料金を引き下げ、市民の暮らしを応援すべきです。水道料金は、基本料金を月額100円引き下げましたが、各種保険料などが生活に重くのしかかっています。余剰金がある国民健康保険や、介護保険などの保険料を抑制することや、上下水道料金の引き下げで生活を応援すべきと主張しました。

## 教育施設の改善を

教育施設の老朽化がすすんでいます。市は、耐震補強を最優先に取り組んできて、平成27年度で小中学校100%完了することになります。  
しかし、学校の美化化やトイレの改修など様々な要望は「幼稚園などの耐震化が終了してから」ということで後回しになっています。耐震化とあわせて改善に取り組むべきです。

## 子ども医療費助成の拡充を

羽曳野市では、現在子ども医療費助成の通院が小学校3年生まで拡充されています。  
しかし、近隣市町村では、中学校卒業まで、小学校卒業までに広がっており、羽曳野市は近隣市と比べ最低となっています。大阪府が子ども医療費助成を拡充する方向を示している中、羽曳野市も、さらなる助成年齢引き上げをすべきです。

## 住民要望が実現した主な施策

- ◆ 妊婦健康診査の公費助成の拡充
- ◆ 国民健康保険の葬祭費の拡充(4万円が5万円に)や人間ドッグの対象年齢の拡充
- ◆ 学校施設の耐震補強、改修工事の実施(25年度は埴生南小、丹比小学校の校舎の耐震補強、改修工事の実施・菅田中学校の体育館の耐震補強、改修工事の実施と校舎の新築工事に着手。羽曳野中学校の校舎及び体育館の改修工事の実施)
- ◆ 地域防災計画の見直し(洪水・土砂災害ハザードマップの見直し―全世帯に配布)
- ◆ 市西部地区のスポーツ公園の整備計画の策定
- ◆ 道路照明をLED照明に更新 など

## 9月議会での意見書

日本共産党議員団が提出した「集团的自衛権行使容認の「閣議決定」撤回を求める意見書(案)」は、オール与党の反対で不採択!

- ◆ 《全会一致で採択された意見書》
- ◆ 手話言語法の制定を求める意見書
- ◆ 軽度外傷性脳損傷の係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書
- ◆ 奨学金制度の充実を求める意見書

## 議長に花川雅昭市議(市民クラブ) 副議長にひろせ公代市議



10月1日、2日と議長・副議長選挙が行なわれ、議長に花川雅昭(市民クラブ)、副議長にひろせ公代(日本共産党)の両市議が全員一致で選出されました。なお、市監査委員は、上敷弘治市議(維新)が選出されました。

日本共産党 羽曳野市会議員団 ご意見・ご要望 お気軽にお寄せください



ひろせ公代

南恵我之荘 3-7-2

TEL 938-4701

FAX 同上



ささい喜世子

高鷲 6-8-4

TEL 931-1860

FAX 同上



嶋田たかし

学園前 4-3-21

TEL 958-5876

FAX 957-6262



若林 信一

西浦 1-7-6

TEL 958-1322

FAX 958-2624